

コーディネーターだより

令和4年2月25日

No.5



特別支援教育コーディネーター研究協議会報告

本校は、地域の特別支援教育のセンター的役割の一環として、年2回特別支援教育コーディネーター研究協議会を開催しています。対象は、特別支援教育を推進していくためのキーパーソンとなる学区内の各学校や園の特別支援教育コーディネーターの先生方です。特別支援教育に関する様々な情報提供をしたり、特別な教育的支援を必要とする児童生徒のための連携を図り、よりよい指導・支援につながる支援ネットワークを構築したりすることを目的としています。

【第1回（5/13）】26名参加

内容) ①本校と他障害種の特別支援学校から各校のセンター的機能について紹介
②講演「こころの問題を抱える児童生徒への支援」(講師：けやき伊奈分校)
参加者からの感想)

- ・センター的機能について詳しく知る機会がなかったので、大変参考になった。
- ・初めてコーディネーターになったので校内でどんなことに取り組んだらいいのか分からないことだらけだった。参加をして知ることができてよかった。など

【第2回（1/21）】18名参加

内容) ①センター的機能における学校コンサルテーションについて話題提供
②事例発表「巡回相談の活用と校内支援体制の構築について」
久喜市立久喜北小学校 特別支援教育コーディネーター
③協議「センター的機能活用による特別支援学校との連携について」
参加者からの感想)

- ・児童への必要な支援についてセンター的機能を活用することがよい成果につながっていることを知ることができた。
- ・センター的機能の活用について分かりやすく教えていただいたので利用してみたいと思った。
- ・似たような児童がいるので、支援の参考になりそうだと感じた。
- ・他市、他校種の先生方と話せて、悩みは似ているのだと元気が出た。
- ・他校の取り組み、課題などが聞けてとても参考になった。今後も機会が欲しい。
- ・中学校の先生方と話ができて、中学校へ支援をつなげていく大切さを感じた。
- ・支援体制を整えていくためには、やはり情報共有なのだと思う。学校内だけではなく、保護者とも共有できるよう、コーディネーターである自分がしっかりと知識や幅広い視野を身につけていきたいと思った。

本協議会を通して、地域の先生方の現状や困り感について知ることができました。今後も地域の先生方への理解啓発を行い、地域の特別支援教育を推進していく必要性を感じました。来年度もコーディネーターの先生方との連携の場になるよう、企画・開催していきたいと思っています。

支援籍学習について

今年度は小学部5名、中学部2名、計7名の児童生徒が支援籍学習を実施しました。具体的な実施の様子については、12月に資料を配布させていただきました。コロナ禍での実施となり、計画通りに実施できなかった部分もありましたが、実施している児童生徒一人一人の支援籍学習のねらいを支援籍校の先生方と共有し、工夫しながら実施をすることができました。保護者の皆様には、送迎・引率の御協力ありがとうございました。3学期の面談では、今年度の支援籍学習の評価をさせていただきます。保護者の皆様と子供たちの成長を共有し、今後の教育活動にも生かしていければと思っております。次年度の支援籍学習実施希望については、小1～中2の児童生徒全員に確認をさせていただきます。併せてよろしくお願いいたします。

言語聴覚士教育相談の活用について

特別非常勤講師の言語聴覚士齋藤陽子先生による言語・摂食の教育相談を、今年度は小学部10名、中学部1名、高等部10名を対象に実施しました。
(担任へのアンケート結果より)

- ・舌の使い方や口の開き方など、なぜ言葉が不明瞭になるのかが理解できた。
- ・口腔部の筋力アップのために、シャボン玉や息吹きなど口を使った運動を行った。
- ・いろいろな指導方法を教えてもらえて、ちょっとした隙間時間にも取り組めた。
- ・生徒自身に自覚が出てきて、空き時間に自分で練習する姿がみられた。
- ・保護者にも伝えて長期休業中も日常的に家庭で『お口の体操』を取り入れてもらえた。

実態把握や具体的な指導方法について言語聴覚士の先生に相談し、自立活動をはじめ、いろいろな学習場面で取り組みました。生徒自身が相談日を目指して練習を積んできたり、ご家庭とも連携して取り組んだりしたケースもありました。次年度も外部専門家を活用し、教育活動に生かしていきたいと思っております。

サポート手帳の活用について

サポート手帳は、乳幼児期から成人期に至るまで一貫してよりよい支援を受けたり、様々な生活場面で障害の特性を適切に理解してもらったりするためのものです。学校卒業後の継続した支援や福祉制度利用をするにあたって活用していくことが推進されております。別刷りでリーフレットを配布させていただきましたので、お持ちでない御家庭は、お住まいの市町村障害福祉担当窓口にてお問合せいただき、御活用いただければと思います。

研修会について

配布いたしました研修案内チラシを御確認ください。



- ①「自閉スペクトラム症の子どもや青年とオンラインゲームの世界」

(3/1～動画配信、申込不要)

講師：関正樹氏（医療法人仁誠会 大湫病院（岐阜県）児童精神科医）

- ②「発達障害は生涯発達！モノの見方が全てを変える～大切なのは 笑いと感謝実践をして感じたこと～」(3/29(火)～4/12(火) 動画配信・事前申込要)。

講師：柳谷花緑氏（落語家）